

# 平成 26 年度事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

## 1) 平成 26 年度助成事業について

### (1) 若手美術家の在外研修に対する助成

#### ① 募集(募集期間、平成 25 年 10 月 1 日～11 月 12 日)

- ア. 美術系大学、美術館等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

#### ② 選考・審査

応募は、163 件であった。

ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研修計画の実現性
- c. 美術界への貢献度
- d. 財団の助成対象としての適合性

イ. 平成 26 年 2 月 24 日開催の第 5 回選考委員会における合議によって、18 名の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。

イ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 26 年 2 月 28 日、助成対象者 18 名を決定し、本人に通知した。(助成額 5,422 万円)

### (2) 在外研修終了後の成果発表(展示会開催)に対する助成

- ① 開催期間 平成 27 年 3 月 13 日～4 月 5 日(24 日間)
- ② 開催場所 ポーラ銀座ビル 3 階 ポーラミュージアムアネックス
- ③ 出展作家 4 名
- ④ 入場者数 2,365 名(レセプション含む)
- ⑤ 助成金額 585 万円

### (3) 美術館職員の調査研究に対する助成

#### ① 募集(募集期間、平成 25 年 10 月 1 日～11 月 12 日)

- ア. 美術館、博物館等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

#### ② 選考・審査

応募は、36 件であった。

ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研修計画の実現性

- c. 美術界への貢献度
- d. 美術館充実への貢献度
- e. 財団の助成対象としての適合性
- イ. 平成 26 年 2 月 24 日開催の第 5 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 26 年 2 月 28 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。(助成額 1,995 万円)

#### (4) 美術に関する国際交流助成

##### ① 募集(募集期間、平成 25 年 10 月 1 日～11 月 12 日)

- ア. 美術館、大学等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

##### ② 選考・審査

応募は、79 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
  - a. 主催者ないし主催団体
  - b. 会議のテーマと実績
  - c. 全体の規模と参加者
  - d. 会議の成果と、その成果の公表方法
- イ. 平成 26 年 2 月 24 日開催の第 5 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 26 年 2 月 28 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。(助成額 2,188 万円)

#### (5) 助成対象者に対する贈呈式・懇親会の開催

平成 26 年 4 月 7 日、ポーラミュージアムアネックス(東京都中央区銀座 1-7-7)において、当財団関係者出席のもと第 19 回助成金贈呈式を開催し、理事長より助成対象者へ目録の贈呈を行った。引続き同ビル内において懇親会を開催した。

## 2) 美術館事業について

### (1) 企画展

- ・平成 26 年 4 月 1 日～4 月 6 日  
「ルノワール礼讃 ルノワールと 20 世紀の画家たち」展開催。  
(会期：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 4 月 6 日)  
来館者：51,225 人
- ・平成 26 年 4 月 12 日～9 月 15 日  
「モディリアーニを探して アヴァンギャルドから古典主義へ」展開催。  
来館者：94,200 人

- ・平成 26 年 9 月 21 日～平成 27 年 3 月 29 日  
「紙片の宇宙 シャガール、マティス、ミロ、ダリの挿絵本」展開催。  
来館者：86,518 人

(2) 美術館内（講堂、展示室、遊歩道等）でのレクチャー（無料）

① 企画展関連

ア. 「モディリアーニ」展

- ・平成 26 年 4 月 19 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 25 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 26 年 5 月 17 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 20 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 26 年 7 月 12 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 21 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 26 年 7 月 26 日（土）講演会「モディリアーニにおける古典性」  
（参加 40 名） 講師 宮下規久朗（神戸大学大学院教授）
- ・平成 26 年 7 月 27 日（日）クロス・ギャラリートーク  
（参加 30 名） 「おしえて！モディリアーニ」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子  
島本英明
- ・平成 26 年 8 月 30 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 40 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明

イ. 「紙片の宇宙」展

- ・平成 26 年 10 月 11 日（火）「ギャラリートーク」  
（参加 19 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 今井敬子
- ・平成 26 年 11 月 2 日（日）講演会  
「紙片の宇宙—絵と言葉が生み出す世界」  
（参加 20 名） 講師 ポーラ美術館館長 木島俊介
- ・平成 26 年 11 月 3 日（月）鑑賞イベント「挿絵本、どう見る？」  
（参加 19 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 今井敬子
- ・平成 26 年 11 月 22 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 18 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 26 年 12 月 20 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 14 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 27 年 1 月 12 日（日）「第二回ギャラリートーク 駅伝」  
（参加のべ 358 名）  
箱根駅伝の形式で計 10 回、美術館学芸員 6 名がリレートークを実施。
- ・平成 27 年 2 月 22 日（土）「ギャラリートーク」  
（参加 22 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 今井敬子

- ・平成27年3月21日（土）「ギャラリートーク」  
（参加16名） 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋

② 常設展関連

- ・平成26年6月21日（土）コレクション・トーク  
（参加12名） 「じっくりみる：絵のなまえ、描かれた世界」  
講師 ポーラ美術館学芸員 工藤弘二  
原 唯

(3) 美術館外での学芸活動（講演会等）

生涯学習普及活動の一環として、学芸員が他の美術館等において、講演会を行っている。

- ・平成26年5月3日（土） 佐賀県立美術館  
ポーラ美術館コレクション展（巡回展）ギャラリートーク  
「ポーラ美術館コレクション」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年5月3日（土） 佐賀県立美術館  
ポーラ美術館コレクション展（巡回展）講演会  
「モネからピカソ 色彩とかたちの展開」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年5月4日（日） 佐賀県立美術館  
ポーラ美術館コレクション展（巡回展）ギャラリートーク  
「ポーラ美術館コレクション」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年5月29日（木） 箱根翡翠  
トークイベント「ポーラ美術館 コレクターと鈴木常司」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年7月8日（木） 千葉市民文化センター  
千葉市民大学講座「フランス印象派の誕生とその展開  
— モネ、ルノワールからゴッホまで — 第1回印象派展を中心として」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年7月15日（木） 千葉市民文化センター  
千葉市民大学講座「フランス印象派の誕生とその展開  
— モネ、ルノワールからゴッホまで — 第8回印象派展を中心として」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成26年8月2日（土） 宮崎県立美術館  
ポーラ美術館コレクション展（巡回展）ギャラリートーク  
「ポーラ美術館コレクション」  
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子

- ・ 平成 26 年 8 月 3 日（土） 宮崎県立美術館  
 ポーラ美術館コレクション展（巡回展）講演会  
 「モネからピカソ 色彩とかたちの展開」  
 講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・ 平成 26 年 9 月 13 日（土） 国立新美術館  
 オルセー美術館展関連シンポジウム発表  
 「1860 年代のドガー歴史画と近代性」  
 講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・ 平成 26 年 9 月 13 日（土） 表参道 CTW  
 E×ART アートの寺子屋  
 「アルベルト・ジャコメッティ」  
 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・ 平成 26 年 9 月 27 日（土） 広島県立美術館  
 ポーラ美術館コレクション展（巡回展）講演会  
 「モネからピカソ 色彩とかたちの展開」  
 講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・ 平成 26 年 10 月 31 日（金） 静岡県立美術館  
 国際シンポジウム  
 「オーギュスト・ロダン（1840-1917）—複合的視点でとらえる—」  
 コメント ポーラ美術館学芸員 島本英明

（４） 授業の一環として美術館を利用する際の優遇措置

① 小中学生が授業の一環として利用する際の入館料無料（引率教員を含む）

平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの利用者数 776 名（前年 596 名）

- ・ 平成26年 4月25日（金） 東京女子学園中学校（児童・教員 49名）
- ・ 平成26年 6月 6日（金） 御殿場市立朝日小学校（児童・教員 86名）
- ・ 平成26年 7月22日（火） 横浜市立浜中学校（児童・教員 49名）
- ・ 平成26年 7月25日（金） 小田原市立城南中学校（児童・教員 7名）
- ・ 平成26年 7月29日（火） 小田原市立鴨宮中学校（児童・教員 15名）
- ・ 平成26年 7月30日（水） 日本女子大付属中学校（児童・教員 13名）
- ・ 平成26年 7月30日（水） 小田原市立酒匂中学校（児童・教員 13名）
- ・ 平成26年 8月 1日（金） 港区立港南小学校（児童・教員 34名）
- ・ 平成26年 8月 2日（土） 静岡市立安東中学校（児童・教員 42名）
- ・ 平成26年 8月 7日（木） 山脇学園中学校、高等学校（児童・教員 25名）
- ・ 平成26年 8月22日（金） 聖園女学院中学校（児童・教員 20名）
- ・ 平成26年 8月23日（土） 真鶴町立真鶴中学校（児童・教員 17名）
- ・ 平成26年 8月27日（水） 実践女子学園中学校（児童・教員 45名）
- ・ 平成26年 9月 9日（火） 港区立筭小学校（児童・教員 56名）

- ・平成26年10月24日（金） 函嶺白百合学園中学校（児童・教員 44名）
- ・平成26年11月 6日（木） 港区立青南小学校（児童・教員 19名）
- ・平成26年12月18日（木） 清泉女学院中学校（児童・教員 184名）
- ・平成27年 3月12日（木） 静岡市立清水第3中学校（児童・教員 58名）

② 土曜日の小中学生無料（地域に関係なく全国の小中学生を対象）

平成26年4月から平成27年3月までの利用者数 984名（前年1,032名）

(5) ワークショップ(参加学習)

① 子どものためのワークショップ

- ・平成26年8月9日（土）「夏休み子ども美術鑑賞会」

生徒23名、保護者30名参加。

生徒を少人数の3つのグループに分け、学芸員が引率して対話型のギャラリートークを行い、その後、親子対話型のワークを行った。

② 学校授業の一環としてのワークショップ

- ・平成26年7月14日（月） 「静岡理工科大学事前レクチャー」

学生28名、教員1名参加

美術館での鑑賞に向けて、学芸員がレクチャーを行った。

- ・平成26年8月4日（月） 「静岡理工科大学レクチャー」

学生28名、教員1名参加

学芸員によるモディリアーニ展のレクチャー及びワークシートを作成し発表を行った。

- ・平成26年7月24日（木） 「町立箱根中学校 鑑賞教室①」

生徒9名、教員1名参加

モディリアーニ展に関するワークシートを作成し発表を行った。

- ・平成26年8月5日（火） 「町立箱根中学校 鑑賞教室②」

生徒15名、教員1名参加

モディリアーニ展に関するワークシートを作成し発表を行った。

- ・平成26年10月20日（月） 「函嶺白百合学園事前授業（出張）」

生徒40名、教員3名参加

紙片の宇宙展、挿絵本についてレクチャーを行った。

- ・平成26年10月24日（金） 「函嶺白百合学園鑑賞授業」

生徒39名、教員5名参加

オリジナルの挿絵本を各自作成し発表を行った。

③ 企画展関連のワークショップ

・平成 26 年 10 月 12 日（日） 「活版印刷で紙片をつくろう」

全 2 回（各回定員 12 名）、総参加者数 26 名

講師：印刷博物館、印刷の家インストラクター

昔ながらの金属製の活字を組んで展覧会にちなんだ詩画カードを刷り、製本の仕組みを学んでマイノートを作成した。

(6) 美術館内サービス

①情報コーナー

館内情報コーナーに設置の 5 台のパソコンにて「収蔵品案内」を公開。約 1,100 点の作品の検索が可能。展示に沿った解説、作品の細部まで鑑賞できる高精細画像に加え、画家の制作の背景を紹介した動画が好評。小学校低学年でも操作可能なため、教育効果が高い。

②『小中学生のための鑑賞ガイド』

学芸部の教育普及担当と企画展担当者の連携により、小中学生向けの企画展鑑賞ガイドを製作、入館時に受付で配布している。コンパクトかつ要点をおさえた内容を心がけているが、需要も大きく、子ども向けの普及活動として一定の効果をあげている。

③『なぞとき！モディリアーニ』クイズシート

モディリアーニ展の「モディリアーニ祭」に合わせ、クイズシートを作成配布。イラスト入りのクイズシートに添って、楽しく鑑賞する目的で制作。

④『紙片の宇宙を歩く ハルミンノート』鑑賞ガイド

紙片の宇宙展に合わせ、イラストレーターでエッセイストの浅生ハルミン氏に鑑賞ガイドを執筆いただき、会場に設置した（平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 3 月 29 日）。パネルの解説も後期展示から設置し、親しみやすいコメントが好評であった。

3) その他の事業について

当財団収蔵の美術品を他の展覧会に出品した。（合計 316 点）